

# 日本林業技士会よりのご挨拶

日本林業技士会会長 小林 洋司

日本林業技士会会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、技士会の運営、活動推進に、ご理解ご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

今年の夏は、これまでにない猛暑が全国にわたり、ようやく秋の季節に到達した兆しが見えてきました。こんななか林業を取り巻く状況を見ますと、一般経済は、特異な形で進んでおります。ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー不足、食糧不足さらに政府、日銀による金融政策の失策による極端な円安からくる物価高、賃金の停滞、企業の原料高から来る業積の不振など厳しい経済状況に見舞われております。

林業を見ますと「建築ブーム」による「ウッドショック」と称し、製材品の不足から木材価格高騰が一昨年から続いております。しかし林業現場では、未だ、再造林が不可能など厳しい状況が続いているようです。林業事業体数は激減、現場では人手不足と労働死傷事故の増加です。林野庁の施策であります、環境税、環境譲与税に伴う、新たな森林管理システムに大いに期待したいと思います。

このような状況の中、林業現場で活躍する「林業技士」の皆さんはたいへんな状況と思います。課題山積み、問題山積み、ここでは触れませんが林業労働災害の多発、林業作業者の不足、立木価格、材価の低迷、どれを考えても解決困難な問題ばかりです。現場作業の指導的立場、現場のリーダーとしての立場、重圧は大変と思います。現場と言っても「林業技士」の皆さんは、行政、事業体としての会社、森林組合、県、市町村、団体の中で活躍しております。それぞれの立場でこのような時期でこそ、何かアイデアを出し問題解決に当たって欲しいと思います。大変な時期を乗り越って初めて、明るい未来が開けます。皆さんの活躍を期待しております。

会員皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします。

日本林業技士会の活動に、ご支援、ご指導、ご協力よろしく願います。

令和5年9月